

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	Academic Written English II		
英文授業科目名	Academic Written English II		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 知能機械工学科		
担当教官名	西村 芳康		
居室	東1-714		

公開E-Mail	授業関連Webページ
eigokyoumu@bunka.uec.ac.jp	なし

【主題および達成目標】
<p>この授業科目の包括的目標は学修要覧に記されている。以下はそこから抜粋したもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前学期に引き続き、様々な書き方を身につける しっかりした構成で論点の明確なエッセイを書く。 2. 前学期に引き続き、自主的に読んだり書いたりする態度を身につけ、書きことばとしての英語に自信をつける AWEIで身につけたスキル、能力、知識を増強する。 3. 前学期に引き続き、批判的思考に必要となる基本的なスキルを身につける 批判的な読み方（クリティカル・リーディング）を身につける（例：テキストの内容を分析する、しっかりした根拠に基づいているかどうかを判断する、偏った考え方に基いて書かれていないかどうかを判断する）。 テキストを読み、批判的な立場から反論する文章を書く。 <p>なお、このクラスではライティングよりもリーディングの方にやや重点を置く。 （このクラスは通年で授業内容を組み立てているので、後学期も継続して受講することが望ましい。前学期の結果を踏まえて、後学期はレベルをやや高めるだけでなく学習課題も修正を加えることがある。）</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
Academic Written English I

電気通信大学 平成21年度シラバス

【教科書等】

Intermediate Faster Reading 「速読の実践演習・改訂版」

Casey Malarcherほか2名(成美堂) 通年で使用

4技能を学ぶ「総合教材」として編集されたが、本文(平均320語)の内容把握と、語彙・イディオムの習得に重点がある。設問を利用して英作文を学ぶ。

<目次の例>

1. 億万長者 2. 伝説のテニスプレイヤー 3. ビデオ・ジョッキー /

11. 珍しい治療法 12. 手相を見ましょう 13. 驚異の記憶力

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

テキストは全20章(各4頁構成)で、各章を1回の授業で扱う。補充プリントも使う。

英語を読む力を高めるために、文章相互と段落相互の関連が緊密な「説明文」を、英語の発想や論理に気をつけながら読んだり、付属の設問を解く。また、英語を書く力をつけるために、本文や設問の英文をどのように利用したら自分の表現力になるかを考えて、翌週にレポートを提出する。

(b) 授業の進め方

授業前半は本文や設問の英文を利用して重要表現の構造を理解して、自分の意図を表す英文に応用できないかを考える。授業後半はテキストの本文を用いて、筆者の論理展開を辿りながら一段落の要点をつかんだり、段落相互のつながりを認識する。同時に、基本的な表現については書く力の観点から利用の仕方を考察する。また、速読力を試す設問を解いたり、CDを利用しながら要約の仕方も考える。なお、開講後に方法や手順を変更することがある。

【授業時間外の学習(予習・復習等)】

(予習)テキスト: 授業で扱う予定の本文を読み、各段落からもっとも良く内容をあらわす英文を1つ選んでおく。

(復習)本文や設問の英文をもとにレポートを作成して次回に提出する。添削をしたレポートは返却される。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法 下記の(1)を中心とした総合的評価をする。

- (1) 期末試験(受験には授業回数の3分の2の出席が必要条件)
- (2) 出席状況(妥当な理由がある場合は、欠席・遅刻届けを教員に提出)。
- (3) 授業中の態度や、発表の仕方・レポートの提出。
- (4) 臨時の小テストや、中間テストをする可能性もある。

評価基準

原則的に、大学作成の以下の基準に基づく。

100~90点は秀、89~80点は優、79~70点は良、69~60点は可、60点未満は不可。

平成16年度以降は「評価平均」が導入されて、不可や履修放棄は0点として計算に入れられるので注

電気通信大学 平成21年度シラバス

意すること。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールなどで事前に予約を取ること。

【学生へのメッセージ】

1. 英語に触れるひとときを生活の中に組み込むことがポイント。
2. 実用的な音声英語の自習には、NHKラジオ・テレビの語学番組がお勧め。

【その他】

なし